

令和元年度 科目名 (保健 1)

1 対象年次、単位数、使用教科書

1年次 (必修) 1単位

教科書：現代保健体育 (大修館)

2 科目の目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。

3 評価規準 (何を評価するか)

現代社会における健康やその対策の考え方が変化していることや、生活習慣病や喫煙、飲酒、薬物乱用や感染症についての正しい知識と適切な対処の仕方と、交通事故防止と傷病や疾病に際して応急手当のしかたを理解できたか。

4 評価基準 (どんな方法で評価するか)

レポート内容の基本的な部分のみ理解されている場合は、理解度に応じて評価 2~3、標準的な部分まで理解できている場合は評価 3~4、発展的な部分まで理解できていると判断される場合は評価 4~5 とする。基本的な部分が理解できていない場合は再提出とする。再提出により合格した場合の評価は 2~3 とする。

5 試験範囲と試験による評価基準

R1~R3 の範囲で 7 月試験を実施。評価は 30~40 点を 2、41~70 点を 3、71~80 点を 4、81 点以上を 5 とする。なお、29 点以下については再試験とする。

再試験を繰り返してもなお基準点 (30 点) に達しない場合は 1 とする。(単位認定しない)

6 スクーリングの目標・内容・計画

スクーリングは生徒の質問に個別に対応することを基本とする。

シラバス (学習内容、年間指導計画および評価規準・評価基準)

R	項目	内容	教科書	時期
1	現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり ・生活習慣病とその予防 ・食事と健康 ・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 	6~25 110	4月 下旬
2	現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・現代の感染症 ・感染症の予防 	26~37 111	5月 下旬
3	現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・欲求と適応規制 ・心身の相関とストレス ・ストレスへの対処 ・心の健康と自己実現 ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当 	38~62 111	6月 下旬